
ことしはリベンジだぁ～！

秀麗富嶽 本社ヶ丸 三つ峠

白井達也

メンバー 白井（単独）

2015年1月11日(日) 快晴

コースタイム

宝鉾山駐車場6:57 1076m高点下(前回最高到達点)8:07 からかさ岩8:55 本社ヶ丸9:53 清八山10:45 大幡山11:19 御巢鷹山(三つ峠)12:27 水雲山13:26 林道14:27 宝鉾山駐車場15:17

歩程8時間20分(休憩含む)

一年の計は元旦にあり。今年の山はじめは、去年の2月に大雪で途中敗退した本社ヶ丸です。本社ヶ丸は雁ヶ腹摺山・滝子山などと共に、大月市が選定した「秀麗富嶽十二景」の一つで、雄大な富士山のビュースポットとして有名です。

出発は前回と同様宝鉾山駐車場です。前は雪の影響で出発が8時になってしまいました。今回は1時間早く出ることが出来ました。登り口の観察小屋は二度の大雪のせいか谷側に大きく傾き、使用不能のようです。

登りの道は送電鉄塔の巡視道となっていて、標識もあり迷うような所はありません。前回撤退を決めた1076m下にも、1時間ちょっとで到達です。(前は道を探しながらのラッセルで4時間かかりました) 笹の尾根を抜け、次第に急になる道を少し行くと、からかさ岩に到着です。

からかさ岩はガイドブックにもあるよ

うに、唐傘には似ていない(四方を廻って見ましたが、どこから見ても似ていません!) ただの四角錐の大岩です。

ここから見る山頂方向は、かなり急な斜面になっていますが、道は左側に巻いています。巻いた先は頂上手前から南東に伸びる尾根の上部で、ここから稜線まで急登が続きます。(20分強) 稜線近くまで雪は無く(去年とは大違い) アイゼンは付けませんでした。稜線に出て(標識あり) 左にほんの一投足で、本社ヶ丸の山頂に到着しました。

本社ヶ丸の頂上は、風もほとんど無く、雲ひとつない快晴で、すばらしい展望を楽しむことができました。もちろんお目当ての富士山も、三つ峠の右に真っ白い山容を見せています。さすがに頂上付近は風が強いのか、南東方向に白い雲を吹き出しています。

ここからはアイゼン(6本爪)を装着しての稜線歩きになります。少しのあいだ岩が出てきますが特に問題なく通過し、南に進路を変えて清八山に到着。松の木2本の右に富士山が見えてなかなかの風情です。大幡山手前のコルには、白い送電鉄塔が建っていて、左の大幡川(宝鉾山)側に降りていく巡視路が見えます。去年はここを下りるつもりでしたが、まだ11時位なので予定通り御巢鷹山まで

足を伸ばすことにしました。(1時までには山頂に着けば、北口登山道を下りても日のあるうちに駐車場に戻れるつもり)

大幡山・茶臼山と越えて行くと、いよいよ最後の急登となります。(40分強) 樹林の中をひたすら登ると、頂上直下に比較的新しい標識があり、(頂上を背にして)右、千段の滝を経て都留市宝(高畑)とあります。御巢鷹山には「四十八滝」があり、「千段の滝」もあるとは・・・機会があれば行ってみたいものです。

御巢鷹山の頂上はアンテナの林なので、北口登山道の分岐で大休憩。ここは日当たりが良く、雪も無く地面も乾いていて、正面に富士山を見ながらゆっくりと昼食を楽しむことが出来ました。

1時近くまで休憩して、さあ下山です。北口登山道は、2年前に四十八滝沢の下りで使っているのだからわかるだろうと思っていましたが、雪に埋まっていると下り口が不安です。トレースが無いのでとりあえずそれらしい所を下っていくと、木に「水雲山下山口」の標識が打ち付けられています。北口登山道は右後ろに伸びているはずですが、ここは尾根を直進してみることにしました。それにしても水雲山とは?・・・どこの山でしょう?

赤テープを追って雪の尾根をしばらく下ると、尾根は細くなり岩も出てきて、木間越しに小さなピークが見えます。右から巻くように少し登り返すと、岩の下に「水雲山大権現」の標識が立てかけられていて、この上に権現様が祭られているようです。

10m位岩を登ると、はたして壊れた小

さなお社が現れました。風で飛ばないように屋根に石が置かれています。この岩のピークは吹きさらしの展望台で、午前中に登ってきた、からかさ岩の尾根から本社ヶ丸がよく見えました。

ここからは赤テープが沢山ついた道を一気に下ります。少し下ると雪は消えてきますが、安定した場所が無いのでアイゼンを外せません。凍った土の尾根をひたすら下ると1300m位でようやく傾斜が緩み、やっとアイゼンを外すことができました。が、これが大失敗。緩んだと思った傾斜はまたまた急降下となり、地表が凍っているのだから上に乗った小石で滑ること滑ること。危うく谷に落ちそうになってしまいました。

1100m位からは左側の斜面が皆伐されて見通しが利くようになり、送電鉄塔が下に見えます。この鉄塔の巡視道を使って大幡川の河原に降り、川を渡渉して対岸の林道に上がることができました。振り返ると尾根の上にピョコンと尖がりピークが見えます。あれがこの地域の信仰の山、水雲山なんですね・・・!

累積標高1770mの、ちょっぴりハードな新年山行でしたが、なんとかリベンジ成功です。やったネ!!

